

原 著

バリウム服用後の追跡調査 第2報 バリウム・下剤の飲み易さ

小 嶋 浩 之*¹⁾ 石 沢 祐 子*²⁾ 青 柳 亨*¹⁾
伊 藤 哲 也*¹⁾ 貝 沼 修 吉*¹⁾ 佐 藤 敏 輝*³⁾

今回、バリウム服用後の追跡調査を行うにあたり、アンケートにバリウムと下剤の飲み易さに関する項目を加え調査を行った。

その結果、性別・検査歴別において、有意義なデータが得られた。

データの分析からバリウム、下剤ともに性別による違いが特に現れており、女性の方が飲みにくいと感じている人が多いことがわかった。また、バリウムについて、検査経験の多い人ほど飲みにくいと感じている人が少ないことがわかった。

キーワード：バリウム 下剤 性別 経験

【緒 言】

近年、上部消化管撮影は内視鏡検査の進歩、普及により減少傾向にあるが、検診の分野においては依然として実施されているのが現状である。

当施設のドックと胃集検についてもバリウムによるX線検査を主に行っている。

今回、バリウム服用後の追跡調査を行うにあたり、アンケートにバリウムと下剤の飲み易さに関する項目を加え調査し、検討を行った。

その結果、特に性別、検査歴別において、有意義なデータが得られたので報告する。

【方 法】

バリウム服用後の追跡調査第1報の方法で調査し、検討を行った。

この第2報ではバリウムと下剤の飲み易さについて、全体、検診別、性別、濃度別、検査歴別、年齢別に分けて分析を行った。また、バリウムと下剤の飲みにくい理由についても若干検討を加えた。

【結 果】

1. バリウムの飲み易さについて

①全体、検診別、性別、濃度別（図1）

飲みにくいと感じている人の割合についてみると、全体が27.1%、ドックが27.1%、胃集検が27.2%で差はなかった。次に、性別については男性が14.6%、女性が35.8%で女性の方が多かった。そして、濃度別については高濃度が27.9%、普通濃度が25.8%で有意差はみられなかった。

②検査歴別（図2）

飲みにくいと感じている人の割合についてみると、1回が41.9%、2回が40.4%、3～4回が34.9%、5回以上が22%で検査回数が多くなるほど減少している。

③年齢別（図3）

飲みにくいと感じている人の割合についてみて

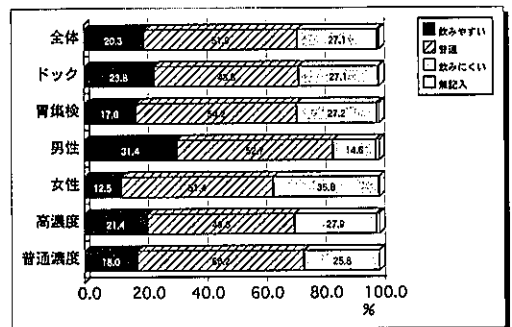


図1 全体、検診別、性別、濃度別（バリウムの飲み易さ）

*¹⁾〒940-8653 新潟県長岡市稲住2丁目1番5号

長岡中央総合病院放射線科診療放射線技師

*²⁾三条総合病院放射線科診療放射線技師

*³⁾長岡中央総合病院放射線科医師

みる。

対象数が10以下の30歳以下と31～35歳を除くと、36～40歳の37%から71歳以上の10.8%まで概ね加齢とともに減少している。

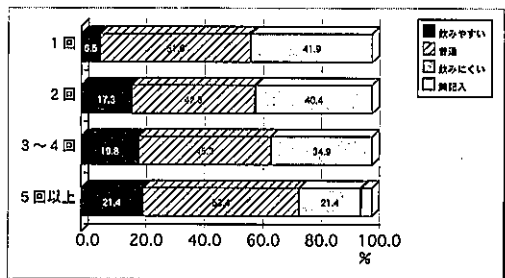


図2 検査歴別（バリウムの飲み易さ）

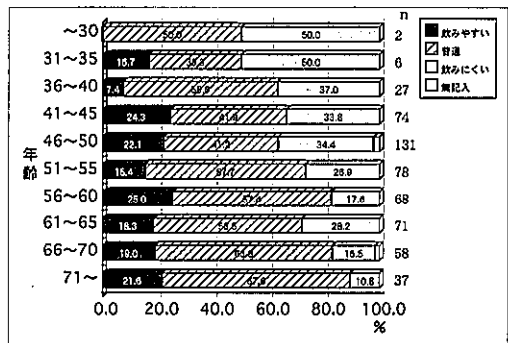


図3 年齢別（バリウムの飲み易さ）

2. 下剤の飲み易さについて

①全体、検診別、性別、濃度別（図4）

飲みやすいと感じている人の割合についてみると、全体、検診別、濃度別については80%以上であった。また、性別については男性が92.7%、女性が78.8%で女性の方が少なかった。

②検査歴別（図5）

飲みやすいと感じている人の割合はすべて80%以上であった。

③年齢別（図6）

飲みやすいと感じている人の割合は51～55歳の69%以外は80%以上であった。

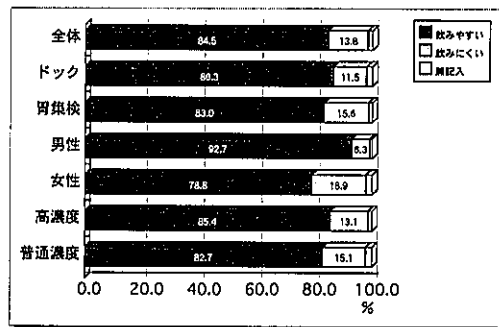


図4 全体、検診別、性別、濃度別（下剤の飲み易さ）

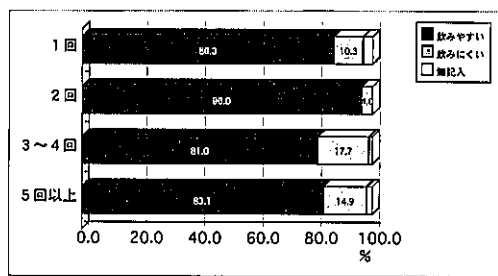


図5 検査歴別（下剤の飲み易さ）

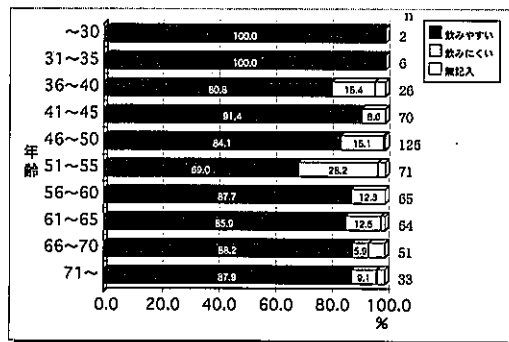


図6 年齢別（下剤の飲み易さ）

3. バリウムと下剤の飲みにくい理由

アンケートに記入された飲みにくい理由について集計し、バリウムは上位5項目、下剤は3項目について表にまとめた。（表1）、（表2）

表1よりバリウムの飲みにくい理由としては、主に濃度の濃さと粘りの強さ、そして量の多さであるといえる。

表2より下剤の飲みにくい理由としては、主に甘さであるといえる。

表1 バリウムの飲みにくい理由トップ5

	飲みにくい理由	回答数
第1位	ドロドロしている、粘りが強すぎる、ゴツリしている	28/107
第2位	量が多い	20/107
第3位	濃い	16/107
第4位	においがいや、香料が特異、香りが悪い、香りがきつい	9/107
第5位	まずい、味が悪い	5/107

表2 下剤の飲みにくい理由トップ3

	飲みにくい理由	回答数
第1位	甘ったるい、甘すぎる	23/33
第2位	味が悪い、味がいや、後味が悪い	3/33
第3位	ピリッとした刺激が気になる、ピリピリするような感じ	2/33

【考 察】

- バリウム、下剤ともに女性の方が男性より飲みにくいと感じている人の割合が多かった。バリウムについては、図7より女性は男性に比べ検査経験が少ないといえるので、飲むのに慣れていないためと考えられる。
- バリウムを飲みにくいと感じている人の割合が濃度別で有意差がなかった。これは、高濃度用バリウムは普通濃度用バリウムより低粘性であるので高濃度にしても粘りが抑えられ、飲み易さに関して普通濃度とあまり差がなかったのではないかと推察される。
- バリウムを飲みにくいと感じている人の割合は検査回数が多くなるほど減少している。これは、検査経験による慣れのためと考えられる。
- バリウムを飲みにくいと感じている人の割合は加齢とともに概ね減少している。これは、図8より検査回数は加齢とともに概ね増加しているといえるので、検査経験による慣れのためと考えられる。
- 下剤の飲み易さについては、全体の約8割の人が飲みやすいと答えていることから、あまり問題はないと考えられる。
- バリウムの飲みにくい理由としては、濃度の濃さと粘りの強さ、そして量の多さがあげられている。

濃度と粘りについては、近年、上部消化管X線検査のバリウムは高濃度化の傾向にあり、改善は期待できない。また、量については、高濃度バリウムを使用することにより、撮影は充盈像より二重造影像

が重視され、120ml程度でも検査は可能である。しかし、実際の撮影には適量あるいは必要量というものが少量化には限界がある。

- 下剤の飲みにくい理由としては甘さがあげられている。これは、下剤に甘味があるソルビトールを使用しているため、錠剤などに変えることにより改善できる。

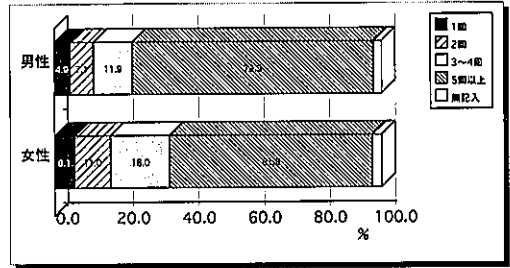


図7 性別による検査歴の違い

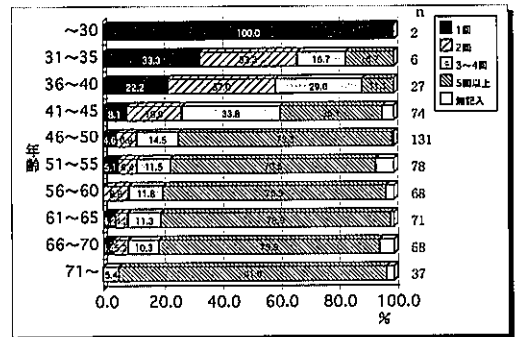


図8 年齢別による検査歴の違い

【まとめ】

今回の調査で、バリウムの飲み易さには性別差があり、女性の方が飲みにくいと感じていること、そして検査経験に依存し、検査回数が増加するほど飲みにくいと感じる人が少なくなることがわかった。また、バリウムの飲みにくい主な理由として、濃度の濃さ、粘りの強さ、量の多さであることがわかった。しかし、現時点では高濃度バリウムの使用、少量化の限界などの理由により改善は期待できない。

下剤の飲み易さについては性差はあるが、全体の約8割の人が飲みやすいと感じていることからあまり問題はないと思われる。しかし、飲みにくい理由として、甘さがあげられており、下剤の特性を考慮に入れ、錠剤に変えるなどの検討も必要かと思われる。

【謝 辞】

今回アンケートに際しご協力をいただきました、中央検診センターの皆様に深く感謝の意を表します。

【文 献】

- 1) 田中耕次：高濃度バリウム使用における排泄と副作用の調査, 消化管検診技術, 9-1 : 48-56, 1995
- 2) 吉崎浩一他：高濃度バリウム使用に伴う服用及び排泄に関するアンケート報告, 日本農村医学会雑誌, 47-3 : 442, 1998

Follow-up survey after taking barium:
2. Impression of taking barium and laxatives

Hiroyuki Kojima^{*1)}, Yuko Ishizawa^{*2)}, Toru Aoyagi^{*1)}, Tetsuya Ito^{*1)},
Shukichi Kainuma^{*1)}, and Toshiteru Sato^{*3)}

A questionnaire survey was conducted on participants' impression of taking barium and laxatives. Significant data were obtained for sex differences and a history of previous barium examinations. Specifically, more females than males were found to feel that it was difficult to take the barium and laxatives. Difficulty in taking barium was less common among persons who had taken it more frequently.

Key words: barium, laxative, sex difference, experience

^{*1)} *Radiological technician, Department of Radiology, Nagaoka Chuo General Hospital
Fukuzumi 2-1-5, Nagaoka, Niigata 940-8653*

^{*2)} *Radiological technician, Department of Radiology, Sanjo General Hospital*

^{*3)} *Radiologist, Department of Radiology, Nagaoka Chuo General Hospital*